



地球環境・国際環境協力

[ホーム](#) > [政策分野・行政活動](#) > [政策分野一覧](#) > [地球環境・国際環境協力](#) > 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

2050年カーボンニュートラルについて

2020年10月26日、第203回臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする(※)、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

本ページでは、2050年カーボンニュートラルの実現に関連した情報を掲載します。

※「排出を全体としてゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成することを意味しています。

(菅総理の所信表明演説は、[こちら\(首相官邸HP\)](#) からご覧ください。)

三 グリーン社会の実現

菅政権では、成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げて、グリーン社会の実現に最大限注力してまいります。

我が国は、二〇五〇年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち二〇五〇年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

もはや、温暖化への対応は経済成長の制約ではありません。積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想の転換が必要です。

鍵となるのは、次世代型太陽電池、カーボンリサイクルをはじめとした、革新的なイノベーションです。実用化を見据えた研究開発を加速度的に促進します。規制改革などの政策を総動員し、グリーン投資の更なる普及を進めるとともに、脱炭素社会の実現に向けて、国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組みます。環境関連分野のデジタル化により、効率的、効果的にグリーン化を進めていきます。世界のグリーン産業をけん引し、経済と環境の好循環をつくり出してまいります。

省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、安全最優先で原子力政策を進めることで、安定的なエネルギー供給を確立します。長年続けてきた石炭火力発電に対する政策を抜本的に転換します。

COOL CHOICE > COOL CHOICEとは

COOL CHOICEとは



2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択され、世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2℃未満にする（さらに、1.5℃に抑える努力をする）こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。

パリ協定を踏まえ、我が国は、2030年度に温室効果ガスの排出を2013年度比で26%削減する目標を掲げています。

この目標達成のためには、家庭・業務部門においては約4割という大幅削減が必要であり、政府は、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進しています。



政府を挙げての国民運動「COOL CHOICE」について

令和2年10月26日

菅総理は所信表明演説で、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を旨言しました。

平成28年3月15日

安倍総理は、第34回地球温暖化対策推進本部を開催し、環境大臣を長とする『クール・チョイス推進チーム』を軸に国民運動を進め、低炭素型商品・を拡大する発言をしました。

[> 詳しくはこちら](#)

[> 詳しくはこちら \(動画\)](#)

平成27年12月22日

安倍総理は第32回地球温暖化対策推進本部を開催し、アイデアを募り、成功事例が共有されるよう、国民運動を全国津々浦々に展開すること、及び環立ち、各省一体となって推進する発言をしました。

[> 詳しくはこちら](#)

[> 詳しくはこちら \(動画\)](#)

平成27年6月2日

安倍総理は第29回となる地球温暖化対策推進本部を開催し『COOL CHOICE』を旗印に政府を挙げて国民運動を展開する発言をしました。

[> 詳しくはこちら](#)

[> 詳しくはこちら \(動画\)](#)

私たち一人一人にできるCOOL CHOICEの例

1. 製品の買換え
例) LED照明、エアコン、冷蔵庫、高効率給湯器、節水型トイレなどの省エネ製品
エコカー
エコ住宅、断熱リフォーム
2. サービスの利用
例) 公共交通の利用、カーシェアリング、バイク（自転車）シェアリング、
宅配便再配達防止
再生可能エネルギーの利用
3. ライフスタイルの選択
例) クールビズ、ウォームビズ、クールシェア、ウォームシェア、
エコドライブ、自転車の利用

COOL CHOICE の取組例

節電・地球温暖化対策のために、省エネ性能に優れたLED照明や有機EL照明などの高効率な照明製品への切替えを推進しています。
日中、適切な照度にするため、窓際照明の消灯や間引き照明などを実施されている企業もあります。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/akari/>

COOLBIZ

冷房時の室温を冷やしすぎず、軽装などの工夫で夏を快適に過ごすこと。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/coolbiz/>

WARMBIZ

暖房時の室温を温めすぎず、重ね着などの工夫で冬を快適に過ごすこと。
省エネ効果は、夏よりも冬の方が大きいとされており、家庭やオフィスにとって経済的メリットもある取組です。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/warmbiz/>

Web会議・テレワーク

コロナ禍で在宅勤務が増加したことにより、WEB会議



宅配便の再配達は、や社会的損失を招き再配達を減らすためBOXの活用や個人受け取るなどの選択が
<https://ondankataisaku.co/butsuryu/>

Plastics Smart レジ袋

エコバッグ、マイボトルの利用などによりごみの削減、CO₂排出削減になります
<http://plastics-smart.env.go.jp/>

ECO DRIVE

ふんわりアクセルで発進するだけで、燃費とCO₂排出削減になります。

エコカーでエコドライブに、もっと低炭素に。
エコカーでエコドライブに、もっと低炭素に。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/e>
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/e>